

第2回

月潟村社会福祉大会開催 月寿荘

去る二月二十四日(水)月寿荘において、第二回月潟村社会福祉大会が開催されました。今回の大会は「在宅ねたきり者を介護されている家族の問題」についてをテーマに村内関係者百十数名の参加を得て行われました。

大会の中でまず県下で二番目の長寿の野上マサさんの介護者野上キセさん(百歳以上者介助)に感謝状をおくり引き続き家庭介護の事例発表として木村和子さん(上曲通)寝たきりの母を看護すること(五十嵐ヨシエさん(「情けは人の為ならず」)のお二人から、六年前後の長い間ねたきり者を介護され、食事の世話下の世話等苦労をされながら通じて得た人間愛、感謝の心が本当に深いきずなで結ばれることになった心境と、これからの高齢化社会にどうしても忘れてはならない心の問題、社会福祉(行政のサービスと民間のボランティア)の必要性について切々と訴えられました。

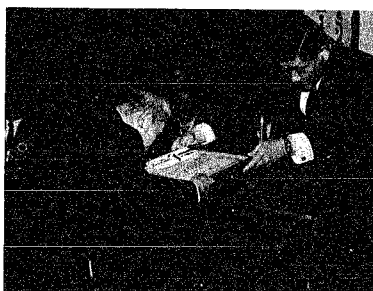


燕福寿園々長 鶴巻昭先生の講演

このあと近藤広子村家庭奉仕員(「十一年間の家庭奉仕員活動を顧みて」)から、家庭奉仕員を職業にもって介護の状況を話し、社会福祉活動(家庭奉仕活動)にあたたかな愛情をもってあたっていたいと発表を結びました。会場では、三人の熱意と迫力をもって訴えられる話で、参加者は感動した面持で聞き入っておられ充分内容のある盛りあがった大会となりました。



事例発表、木村さん、五十嵐さん、近藤さんの三氏



百歳以上の者の介助による表彰 野上キセさん

高額療養費の支給

医療費の一部自己負担が高額になっ

被保険者が同一月内に同一の医療機関で治療を受け、一部負担金の額が一人、一ヶ月五万四千元(住民税非課税世帯の場合は三万円)を超えるときには、その超えた額について、月潟村国民健康保険(国保)の窓口で請求手続きすれば、高額療養費として約二ヶ月後に払い戻しが受けられます。

高額療養費貸付制度

この制度を利用できる医療機関は、現在、白根健生病院ですが、四月一日から県立がんセンター新潟病院も利用できます。申請手続きは、医療機関の窓口で印鑑を持参のうえ、手続きください。

受領委任払い制度が適用されない医療機関に医療費を五万四千元(三万円)以上の支払いする場合に利用出来ます。申請手続きは、役場住民課国保窓口で印鑑持参のうえ、手続きください。

◎長期にわたる入院や、医療費の高額化等で支払が困難の方のために、高額療養費受領委任払い制度と高額療養費貸付制度があります。

高額療養費受領委任払い制度

医療機関に医療費を五万四千元(三万円)の支払いで済む方法が受領委任払い制度です。

田村甚一郎氏に 白根警察署長より感謝状



去る三月八日、白根警察署にて、多年にわたり交通安全思想の普及と、交通安全の確保に尽くした功績が認められたとして、田村甚一郎氏(釣寄新)に、白根警察署長から感謝状が贈られました。おめでとうございます。今後とも交通事故防止に御協力をお願いいたします。

神保茂夫氏 住居侵入者逮捕に協力



去る二月二十八日午後七時頃、釣寄の神保茂夫さん方に侵入しようとしていた所、神保さんが発見、白根警察に通報、住居侵入者逮捕に協力、よって翌三月八日白根警察署から感謝状が贈られました。逮捕に御協力ありがとうございました。



講演会

成人病は習慣病

講師 伊藤義一先生

二月八日、就業改善センターに於いて、新潟大学医学博士伊藤義一先生の、御講演を拝聴させていただきました。成人病(別名習慣病)と言われる今日、伊藤先生のお話を聞くまで、私自身「成人病」と言う言葉は、それほど気にもとめず、見過ごしてしましました。恥かしい話ですが「成人病」とは、と問われて見たら疑問を持ち咄嗟に答える事は出来なかつたでしょう。私も糖尿病で悩む母を持つ一人として、如何に日常の食生活又生活環境のコントロール

「講演を聴いて」

東長島 笠原靖子

が大切である事が良くわかりました。若い時代に作り上げられている、気ままな生活、暴飲暴食の積み重なりが、中年になると芽を出し始め、いわゆる動脈硬化、脳卒中、癌、心臓病につながると言う事でした。早期発見第一に次の世代を担う若者を育てる中高年の主婦にとって食生活の重大さを感じさせられました。余りにも知らずに過ごして来た自分の生活を見直すと共に明るい家庭を築き上げたいと思います。

伊藤義一氏略歴

- 昭和34年 新潟大学医学部卒
昭和39年 新潟大学院医学研究科終了 同時医学博士学位授与される
昭和55年 新潟大学教授就任
昭和57年 新潟大学保健管理センター所長

